

輝く命

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.15

令和6年7月発行

1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設「新生園」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設「第二新生園」

〒028-3617
岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設

「みちのく療育園メディカルセンター」
〒028-3623
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601
医療的ケア児支援センター（相談窓口）
電話：019-611-0610

5 多機能型施設「ワークセンターむろおか」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666
エコレストランあいのの
〒028-3605
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所「あさあけの園」caféあさあけ

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」
電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826
紫波地域障がい者基幹相談支援センター
電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826
〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所「新生ホーム」

・室岡ホーム・見前ホーム・中島ホーム・第二中島ホーム
〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9
電話：019-611-1199 FAX：019-601-2380

社会福祉法人 **新生会**

<https://www.i-shinseikai.jp/>

詳しい情報はホームページで



かがや いのち
「輝く命」

第1 人権の尊重

私たちは、利用者の人権を侵害することなく障がいがあるが故の差別をしてはならない

第2 四者一体での運営

私たちは、利用者・家族・職員・役員の四者一体となって運営を図らなければならない

第3 倫理の確立

私たちは、法令遵守や高い倫理観が求められており、常に人格・資質の高揚に努めなければならない

第4 地域生活支援の活動強化

私たちは、地域と連携し、要援護者に対してより良い支援提供に努めなければならない

『利用者さんの声やサインを大切に』 常務理事 鈴木 長幸

今年の桜の季節はいつもより足早に通り過ぎてしまいました。気候変動に不安を感じるこの頃ですが、いつきではあっても賑やかな風景は気持ちを前向きにしてくれるものです。

令和6年度は、法人の事業に密接な障害福祉サービス報酬と診療報酬の改定が同時に行われる年となりました。当法人では、先行して現中長期経営計画(令和3年度～令和8年度)の後半に向けた見直しを行いました。改定の動向についての事前情報を可能な限り踏まえながら見直しを進めたのですが、その趣旨を反映しきれていない面がありました。運営にあたっては、国等の施策に留意しながら実行に移していきたいと考えています。【紙面の関係上、見直し後の中長期計画の内容は新生会ホームページをご覧ください。《トップページ》→《情報公開》→《中長期計画》と進んでください。】

元日に発生した能登半島地震で被害を受けた皆様にはお見舞いの気持ちしか持ち合わせませんが、災害に対する私たちの意識が希薄になることへの警告であったとも受けとめています。予測できない様相で襲ってくる災害への備えは完璧にはできませんが、今回現地から発信されている情報を参考に、計画の見直しや訓練を重ね、より実効ある備えへ近づけていかなければならないと思います。

新年度早々の新入職員研修で、「日々の利用者さんへの身の回りの世話は手段であること。利用者さんに満足していただける生活、活動を提供し、人生を支えることこそが目的であること。」を意識するようでありたい旨を伝えました。毎日繰り返しの業務に追われることが現実であっても、利用者さん一人ひとりが発する声やサインに気づき、目を向けることが法人「輝く命」に通じるとというのが、拙い経験から学んだ私なりの思いです。

今後も利用者様ならびにご家族皆様方に「安心と満足」を提供できるよう常にレベルアップを図る法人を目指して参りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



◎事業活動計算書(令和5年4月1日～令和6年3月31日) (単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益	1,519,797,526
	サービス活動費用	1,525,712,995
	サービス活動増減差額	△ 5,915,469
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	5,397,742
	サービス活動外費用	5,767,001
	サービス活動外増減差額	△ 369,259
経常増減差額		△ 6,284,728
特別増減の部	特別収益計	4,208,064
	特別費用計	13,263,990
	特別増減差額	△ 9,055,926
当期活動増減差額		△ 15,340,654
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,918,429,898
	当期末繰越活動増減差額	1,903,089,244
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	150,000
	その他の積立金積立額	51,692,000
次期繰越活動増減差額		1,851,547,244

【令和5年度】社会福祉法人 新生会

決算報告

◎貸借対照表(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	899,621,624	流動負債	197,243,600
固定資産	2,527,257,829	固定負債	225,402,975
		負債の部合計	422,646,575
		純資産の部	
		基本金	351,764,846
		国庫補助金等特別積立金	403,615,288
		その他の積立金	397,305,500
		次期繰越活動増減差額	1,851,547,244
		純資産の部合計	3,004,232,878
資産の部合計	3,426,879,453	負債及び純資産の部合計	3,426,879,453

昭和58年4月に開設した当施設は、ご利用者様とご家族様、地域や関係者の皆様に支えられ、昭和、平成、令和の時代を経て、令和5年度に創立40周年の節目の年を迎えることができました。

「輝く命」の法人理念は今も色あせることなく職員の行動規範となっており、創立40周年記念行事として、令和5年9月14日～9月19日に、矢巾町活動交流センターやはばーくにおいて、「～輝く命展～」と題し、パネル展等を開催し多くの方々に法人や新生園を知っていただく機会となりました。

障がい福祉制度や地域福祉を取り巻く諸環境は、開設当時から大きく変化してまいりましたが、法人の理念と4つの基本方針のもと、ご利用者様が、その人らしく、自立した生活を送れるように支援しています。

現在は、10歳代から80歳代までと幅広い年齢の方が利用しており、施設入所支援、生活介護、就労継続支援B型(印刷科、洗濯科)、短期入所の障がい福祉サービス提供を行っています。どの科でもご利用者様は生きがいをもって活動しております。

これからも、地域、関係者の皆様のご理解ご協力を頂きながら、ご利用者様に寄り添い、お一人お一人の思いを大切に、ご本人やご家族の満足度向上と地域ニーズに応えるサービス提供に努めてまいります。ご指導ご鞭撻をよろしく申し上げます。

これから、地域、関係者の皆様のご理解ご協力を頂きながら、ご利用者様に寄り添い、お一人お一人の思いを大切に、ご本人やご家族の満足度向上と地域ニーズに応えるサービス提供に努めてまいります。ご指導ご鞭撻をよろしく申し上げます。

社会福祉法人新生会は、平成6年に最初のグループホーム「土橋ホーム」を開設しました。以来30年の歴史を経て、現在は、矢巾町、紫波町、盛岡市に4カ所のグループホームを運営し、34名のご利用者様が地域の皆様とともに生活を送っています。

令和3年には、紫波町に第二中島ホームを開所し、紫波町・矢巾町の「地域生活支援拠点」として、在宅障がい者の緊急的な受け入れ、体験利用の場として短期入所サービスを提供しています。

さて、昨今、全国的に障がい者グループホームは、様々な業種の法人や企業が数多く参入しています。ご利用者様にとって、選択肢が多い利点がある一方、サービスの質の見極めが難しくなっているように思います。

共同生活援助事業所は、誠実な施設運営とガバナンスの確立が求められており、制度改正にて示されたとおり、ご利用者様の意思決定に基づいたサービスの充実及び外部評価が重要になるのだと思います。

また、社会的課題である福祉人材の確保については、虐待防止や離職防止の観点からも具体的な業務軽減や支援体制の見直し、IT化等を進めていく必要があると感じています。併せて、支援の質を下げないためには、職員の専門性(知識と技術)の向上が重要であり、関係機関との連携、相談体制、研修、OJTが欠かせないと思います。

新生ホームは、顔を合わせての対話を大切に、健康で、楽しく、気持ちにゆとりを持ち、楽しい時は笑い合い、困った時は助け合いながら、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、そしてスタッフとスタッフの家族すべての人々の「輝く命」を実現したいと考えております。

障害者支援施設 新生園

施設長 浅沼 圭美



共同生活援助事業所 新生ホーム

施設長 佐々木 亮



令和6年度
新卒職員紹介



夏井結羽
第二新生園
生活支援員



専門学校で学んだレクリエーションを通して、利用者様が楽しい園生活を送れるような支援に努めたいと思います。



今野 海
みちのく療育園メディカルセンター
調理師



早く仕事に慣れて、即戦力になるよう頑張ります。趣味はドライブです。車の好きな方がいたら、ぜひ声をかけてください。

障害者支援施設 第二新生園

お花見会

第二新生園では、利用者の皆さんが楽しめる季節行事を計画、実施しています。春といえば「さくら」ということで、4月にはお花見会を行いました。今回は、その時の様子をご紹介します。

入所では、お花見会の前から桜が咲くのを楽しみにしている利用者さんが多く、「まだかな～」と食堂の窓から桜を眺め、満開になるのを心待ちにしている姿を受けとめ、敷地内でお花見会をしました。木の下から桜を眺め、用意した桜色の可愛い和菓子を皆さん「美味しい～」と笑顔で頬張っていました。通所生活介護でも田んぼを隔てた「月の輪形遺跡」でお花見会をしました。満開の桜の木の下で、お茶と和菓子を味わいました。その後はブルーシートの上で横になってのんびり過ごしたり、フライングディスクをしたりと、それぞれの楽しみ方を満喫していました。天気も良く皆さん気持ちよさそうでした。就労Bでは、湯沢団地へドライブに出掛けました。満開の桜を見ながら公園内を散策したり、おやつを食べたりして過ごしました。散策中には「癒される～」と話す利用者さんもいて、リフレッシュできた様子でした。

今後も楽しい行事を計画していきたいと思います。第二新生園のブログでも活動の様子をお伝えしておりますので、ぜひチェックしてみてください！



障害者支援施設 新生園

春の外出

新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行後、初めて大型ショッピングモールまで出かけてきました。

行先は、印刷科、洗濯科、生活介護科の3科ともご利用者様からの希望が多かった「イオン」。店内に入ると、「あれ?何か変わったね」「前はここにこんなの無かったのに」と、コロナ前と比べだいぶ様変わりした店内に驚かれていました。少し戸惑いながらも、自分の欲しい日用品や食料品を選び買い物を楽しまれていました。

そして、一番楽しみにしていた昼食の時間になり、ハンバーガーやうどん等美味しそうに食べていました。

今後も、感染症対策を行いながら、楽しみの機会を増やしていきたいと思います。



療育活動 パオパオバルーン

パオパオバルーンは、風や光の変化を感じながら、風船やボール等を使って楽しむ療育活動です。

カラフルなシートで利用者が円になって参加すると強い風に驚いたり、シートが顔に当たるのが面白くて笑顔になったり、職員も一緒に楽しい時間を過ごしました。



ぽかぽかいい天気☀

外で食べるご飯はいつも以上に美味しく感じるね!

気持ちの良い風を頬に受けながら日陰で優雅にランチを楽しみました♪

矢巾町間野々の4号線沿いに位置している「エコレストランあいのの」は、平成21年7月11日にオープンして今年で15年目を迎えました。利用者様の働く場として利用者5名、職員5名で営業をしています。

就労移行支援の方は、様々な作業に取り組ながら就職を目指していて、就職された方も数多くいらっしゃいます。また、就労継続支援B型の方も掃除や接客、オーダー取り、調理補助、環境美化活動等に取り組ながら、お客様のご来店を元気にお待ちしております。

★各種定食、各種パスタ等の提供のほか、金曜日・土曜日・日曜日は**薪を使用した石窯焼きピザの提供**もあります。お弁当・オードブルの注文も随時承っていますので、ぜひご利用ください。

ワークセンターむろおが事業所内 【エコレストランあいのの】 紹介



ふきんたたみなどの作業もします



営業時間：11:00～16:30
(ラストオーダー16:00)
定休日：月曜日・火曜日



育てた野菜は食材として活躍します



私達が元気にお出迎えいたします!

～光れ～ HIKARE

障害者地域生活支援センター しんせい

「ギャンブル依存症の方々への支援」

今年の5月、東北で初めてのギャンブル依存症の回復施設「東北グレイス・ロード岩手サポートセンター」が矢巾町に開設されました。15名の方が全国から矢巾町に来て利用されています。

この施設を利用するにあたっては障害福祉サービスの自立訓練(生活訓練)が該当となりますが、ギャンブル依存症の回復施設を対象としたサービス等利用計画作成は初めてということもあり、日々勉強の毎日です。当センターでも3名の方の計画相談を担当させていただいていますが、行政や他の相談支援事業所と連携をしながら取組を進めています。自立訓練の利用期限は2年です。限られた期間の中で、この矢巾町の地でグレイス・ロードの回復プログラムに取組社会復帰を目指している皆さんのお手伝いをさせていただきたいと思えます。

記事の掲載も快く了承してくれたセンター長の田村仁さん。「ギャンブル関係でお困りのかたは、いつでもご相談下さい。」と話されています。



「グレイス・ロード」
国道4号線沿い、矢巾町藤沢に
開所しています。



計画相談の「モニタリング」
談笑しながら、お話を聞かせて
いただいています。

また、事業所内での回復プログラムの取組とともに、地域のイベントへの参加や社会貢献活動も回復プログラムの大切な部分の一つだとお聞きしました。相談支援専門員としての関わりとともに、地域全体としてどのように関わらせていただくことができるか意識して取り組んでいきたいと思えます。

多機能型事業所 あさあけの園

あさあけの園生活目標

「今日も明るく楽しく元気よく!」

元気で過ごすためには、健康であることが大切。当園の健康への取組を紹介します。

毎朝昼の検温、月1回の体重測定、食事の様子も健康のバロメーター!看護師を中心に体調を伺い、時には分かりやすく健康指導を実施。7/1は、「熱中症予防」について実施しました。

生活介護では、毎日の散歩とリラックス体操が日課。座り作業の多い就労Bは、エコノミー症候群予防に30分に1回の健康体操を取り入れました。また、散歩を兼ねて施設周辺のクリーン

作業を定期的実施しています。声を出すのも健康、運動タイムでは応援や歓声が飛び交い、元気に楽しんでいます。



健康指導



クリーン作業



運動タイム



検温・体重測定



散歩活動



健康体操

〈5月21日〉『カフェで楽しい時間を過ごそう☆彡』ということで、利用者さんお二人と、オガール内にある喫茶店「4882The SUGAR」を初訪問。お二人は、メニューの中からアイスコーヒー、キャラメルラテを注文し、「美味しかった」と喜んでいました。(*^-^*) 久しぶりの外出だったので楽しい気分転換になったと思います。



今年度の 遊生会スタート♪

共同生活援助事業所 新生ホーム

遊生会はグループホーム（室岡ホーム、見前ホーム、中島ホーム、第二中島ホーム）利用者様のお楽しみ会です。小旅行や会食、女子会等、余暇活動を充実し、利用者様の親睦を図っています。

〈5月26日〉見前ホームで『お楽しみ夕食会』を行いました。

メニューは、利用者さんリクエストの焼きそば、厚切りベーコン、バジルソーセージ、エリンギ入り野菜炒め、アイスクリームです。皆さん「美味しい、美味しい」と喜んで食べてくれました。



〈5月30日〉『イオンツアー』を行いました。

男性利用者さんはゲームセンター、女性利用者さんは買い物を楽しみました。

フードコートでは、それぞれが好きなものを注文、夕食としました。参加の皆さんからは大好評でした。

今年度は、利用者さんの行きたい場所、食べたいもの、欲しいものなど聞きながら遊生会行事を充実させていきたいと思っています。

新入職員研修

新生会では人材育成を運営の重点に掲げ、各種の研修を計画的に行っています。

新入職員を対象とした研修は年2回計画し、4月24日～25日に今年度1回目を実施しました。

今回は、4月に入社した新卒を含む採用者と昨年度未受講の職員計14名が参加しました。

理事長の新入職者への期待と激励の挨拶から始まり、【法人の理念と歴史】【就業規則・BCP】【交通安全・防災】【虐待防止】【コンプライアンス・ハラスメント・ガバナンス】【福利厚生】の各テーマについて、役職員を講師として進められました。

また、外部講師による【福祉施設職員としての接遇マナー】では、ご利用者に対する接遇から名刺の渡し方や電話の受け答え方などのビジネスマナーの実技を行ったり、周りの職員とグループワークをしたり、職員同士のコミュニケーションを図りながら実施できる内容にしています。

社会人として、福祉職員として、大切にしていかなければならないことに気付いたり、学んだりすることができ、法人職員としてのスタートにふさわしい研修とすることができました。

本部職員も初心を忘れずに、日々の業務に従事していきたいと思っています。

法人本部



【令和5年度】社会福祉法人 新生会 苦情・要望 対応状況

令和5年度、各事業所にお寄せいただいた苦情・要望の総数は、16件でした。

種類	件数	職員の対応	サービスの 内容	施設の設備・ 環境	説明・情報 提供	その他
苦情	10	7	1	0	1	1
要望	6	0	2	3	0	1

※詳細に関しましては、新生会ホームページをご覧ください。

各事業所では、お寄せいただいた苦情・要望を真摯に受け止め、事業所内で情報を共有、丁寧な説明を行うことで解決に努めています。また、事業所毎に苦情解決第三者委員会を開催し、第三者委員に苦情や要望の内容を報告し、助言をいただいております。

Information インフォメーション

令和6年度

地域交流フェスティバル &

ワークセンターむろおか 創立20周年記念行事

- 期日** 9月21日(土) 午前10時～午後1時
- 会場** 社会福祉法人新生会
新生園、ワークセンターむろおか地内
- 内容**
 - ワークセンターむろおか
20周年パネル展示
 - 事業所商品販売(ピザ、パンほか)
 - 歌や踊りを通じた地域の皆様との交流
(ほか)

新生園

矢巾町地域情報発信ステーション

「icottoいこっと」で展示販売

矢幅駅東口にある建物です。新生園の活動を紹介するパネル展示や、裂き織、布マット編みの製品販売をしています。お立ち寄りください。



caféあさあけ



「焼きそば・たまごコッペ」1個 200円(税込)

特にこだわったのは、焼きそばのソース!
特製濃厚ソースを絡めた焼きそばで、コッペパンと絶妙な味のバランスに仕上げられています。他にはない組み合わせのパンを、是非ご賞味ください。

カフェ「あさあけ」 ☎019-697-6537

エコレストラン あいのの

お客様感謝デー

日替わりランチが

650円(税込)になるお得デー

2日間に増えました。

期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

1年間の期間限定企画となっております。この機会に、エコレストランあいののの味をご賞味ください。

毎月

★第2金曜日 ★第4木曜日

編集後記

～HIKARE～第15号をお届けします。令和6年度の表紙は、「やはば イチ推し風景」とし、町内の素敵な風景、残しておきたい風景の掲載を企画しています。この機会を通じて、町推しのスポットを探してみませんか。

今回の事業所ページは、新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年が経過し、利用者様の希望に寄り添う外出やイベントなど工夫をこらした事業所の取組をご紹介します。

これからも、皆様楽しく読んでいただける紙面・内容を工夫していきたいと思っております。

【表紙写真紹介】

<新緑に映える幣懸の滝：矢巾町煙山地内>

幣懸(ぬさかけ)の滝は南昌山の登山口にある滝で、約7mの高さから流れ落ちる水に夏の涼を求め多くのファミリーが訪れます。かつて、南昌山に入山するマタギが幣をかけ(懸)て狼の安全を祈願したことから名前が付けられたといわれています。新緑、紅葉、四季折々の自然に彩られ多彩に美しい風景を見せてくれます。矢巾町の代表的な観光スポットです。

(撮影：令和6年5月16日 法人理事 秋篠孝一)